

OCAMI Reports フォーマット

本フォーマットは次の3種類のファイルから成ります：

- (a) `front_matter.tex`
- (b) `abstract_in_English.tex` および `abstract_in_Japanese.tex`
- (c) `unify_pdfLaTeX.tex` および `unify_LuaLaTeX.tex`

1. ファイル (a) を使用して、フロントマター（表紙, Preface, Organizers）を英語で作成してください。Preface には、研究課題の目的、活動内容、得られた成果を含めて記述してください。
2. ファイル (b) は、各講演者のアブストラクトや講義記録等の作成フォーマットとなります。英語で作成される場合は `abstract_in_English.tex` を、日本語で作成される場合は `abstract_in_Japanese.tex` をご使用ください。また、これらのフォーマットを使用せず、別途作成されたアブストラクト PDF 等を使用することも可能です。（下記 4. をご参照ください。）分量、内容等の詳細につきましては、組織者、代表者の方にお任せ致します。
3. ファイル (c) を使用して、(a) と (b) の PDF ファイルを直接取り込み、ヘッダー・ページ番号・目次を挿入して1つの PDF ファイルにまとめることができます。(c) のどちらのファイルを使用しても問題ございませんが、`unify_pdfLaTeX.tex` は目次を日本語入力できませんのでご注意ください。可能な範囲でご作成をお願いします。
4. ファイル (c) を使用して、スライドやポスター等の関連 PDF ファイルも取り込むことができます。是非ご利用ください。
5. スライドにおいて `\onslide` や `\pause` 等のコマンドが使用されている場合、それらのコマンドを削除したスライド（スライド枚数 = ページ数 のもの）を取り込むことで、より見やすい OCAMI Reports を作成していただくことができます。スライドを取り込む場合、`\onslide` や `\pause` 等を削除したスライドを送付していただくように、講演者に依頼していただければ幸いです。
6. 本 OCAMI Reports は、大阪市立大学の機関レポジトリに登録され、DOI が付与されます。また、OCAMI Reports は、大阪公立大学数学研究所のウェブページ
<https://www.omu.ac.jp/orp/ocami/publications/reports/>
にて一般公開されます。
7. 作成終了後、下記ファイルを OCAMI 拠点事務 `gr-ami-kyoten@omu.ac.jp` までご提出お願い致します。

- (a) の Tex ファイル および PDF ファイル
- (b) の PDF ファイル*
- (c) の Tex ファイル および PDF ファイル
- その他、使用された関連 PDF ファイル（スライド PDF 等）

* 目次作成を拠点スタッフに依頼される場合、(b) の Tex ファイルもご提出いただけると助かります。

ご不明な点等ございましたら、OCAMI 拠点事務（上記アドレス）までご連絡ください。どうぞ宜しくお願い致します。